

2021年度

環境活動レポート



 太陽油脂株式会社

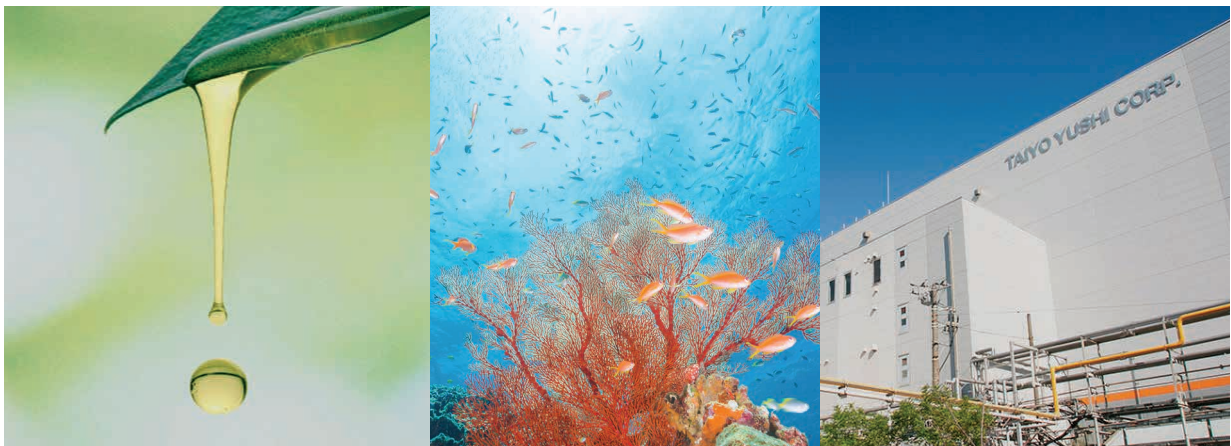


太陽の恵み
人にやさしく地球にやさしく

発行日：2022年06月28日

目次

1 組織の概要	P. 3
2 対象範囲	P. 3
3 環境経営方針	P. 4
4 環境経営管理実施体制	P. 5
5 環境経営目標	P. 6
6 環境経営計画	P. 6 - 7
7 環境経営目標の実績	P. 7 - 8
8 環境経営活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組	P. 9
9 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無	P. 10 - 11
10 代表者による全体評価と見直しの結果	P. 11
11 その他環境経営活動報告	P. 12 - 17



1

組織の概要

事業所名及び代表者名

太陽油脂株式会社
代表取締役社長 中山 悟

所在地

神奈川県横浜市神奈川区守屋町 2-7

環境管理責任者及び担当者連絡先

環境管理責任者：施設グループ GL 金井 一徳
TEL：045-441-4962 FAX：045-441-9671

事業の概要

①事業内容

食用加工油脂部門：ショートニング、マーガリン類、その他食用加工油脂および油脂加工製品の製造販売

石けん・化粧品部門：家庭用・業務用石けん、シャンプー、ハミガキ類、化粧品の製造販売

飼料部門：飼料用脂肪酸カルシウムの製造販売

②事業規模

生産量：73,534 t / 年（食品 72,206 t / 年）

従業員数：306 人（2022/4 現在、
従業員 252 名＋構内協賛会社人数 54 名）

延べ床面積：14,638.46㎡

2

対象範囲

認証・登録範囲（2009年認証取得）

食用加工油脂部門：ショートニング、マーガリン類、その他食用加工油脂および油脂加工製品の製造販売

石けん・化粧品部門：家庭用・業務用石けん、シャンプー、ハミガキ類、化粧品の製造販売

飼料部門：飼料用脂肪酸カルシウムの製造販売（2021 年度登録）

レポートの対象期間及び発行日

対象期間：2021 年 04 月 01 日～2022 年 03 月 31 日

発行日：2022 年 06 月 28 日



一滴の油から、やさしさを広げる。「やさしさ」誰もが持つこの気持ちを、私たちははぐくみ、届けてきました。何気ない日常がほほえみでつまれるように、私たちは人を想い、自然を想う。生活が大きく変わり、不安を抱える今だから、もう一度あなたと共にやさしさを考えたい。100年後も、その先も、やさしさで繋がる未来を目指して、環境経営方針を掲げます。

A-KE002-07-0

改訂日 2020年08月20日

環境経営方針

太陽油脂は、「太陽の恵み 人にやさしく地球にやさしく」と掲げた企業理念のもと、誠実をモットーに、確かな技術とモノづくり精神に裏付けられた、人と、地球にやさしい、安心・安全な製品の提供と各種の経営活動を通じて、心豊かで健康的な暮らしと社会・自然の持続可能な発展に貢献するため以下の環境経営方針を定めます。

1. 環境、社会との共生に視点をおいた企業活動

- 1-1、太陽油脂は重要な社会的課題・環境問題に真摯に対応する経営の実践を通じて社会的責任を果たしていきます。
- 1-2、太陽油脂は「人、社会そして環境への貢献」を考えた具体的な経営活動・事業活動を積極的に展開していきます。

2. 人と環境に優しい製品の提供

- 2-1、太陽油脂は、「人と、地球にやさしい」に拘った食用油脂製品と石けん製品を通じて、お客様に豊かで「安心・安全な生活」とともに「環境にやさしい生活」をも提供していきます。
- 2-2、太陽油脂は、原料調達・生産から製品使用までの企業活動のあらゆる段階での環境への取り組みにおいて、環境関連法規、自主ルール等を順守しつつ「省資源・省エネルギー」「排水・廃棄物削減、リサイクル」等を継続改善していきます。
- 2-3、太陽油脂は、「食品廃棄物の発生抑制、再生利用」等による食品資源の有効利用を推進していきます。

太陽油脂は、この環境経営方針の全従業員への周知徹底を行い全員参加による環境、社会との調和を目指した企業活動を推進していきます。

2020年08月20日

 太陽油脂株式会社
代表取締役社長 中山 悟

太陽油脂のSDGs重点テーマ

私たちは、自社の取り組みをSDGsの17のゴールと169のターゲットと照らし合わせ、事業との関連性で重要度を評価し、積極的にSDGsへ取り組んでいきます。





実施体制役割説明

代表者（社長）：環境経営システムの構築・運用に必要な経営諸資源を準備する

環境経営に関する、基本理念、長期戦略及び基本方針等に基づき、環境方針を定める

環境経営システムの構築・運用に関する情報を収集し、環境経営システムの見直しを行う

環境管理責任者：環境負荷と環境への取組状況の把握と評価を行い、結果を社長に報告する

環境関連法規等の取りまとめを行い、結果を社長に報告する

環境経営目標及び環境経営計画の策定を行い、社長の承認を得る

部門（部署）の「環境経営計画・実施状況・評価表」を承認し、活動の推進を図る

EA21事務局：環境管理責任者を補佐し、全社環境関連データの集計及び管理保管を行う

全社の環境経営活動の運用状況を把握し円滑かつ効率的な活動となるよう総合調整を行う

PR委員会：企業情報及びリクルート・CSR・SDGs・プロモーション等の活動において、一貫性を持った外部発信力を高め、

企業ブランド・商品ブランド認知及び社会価値の向上を図るための検討・決定機関として活動する。

各部門長（各部署長）：部門（部署）の環境経営システムの構築・運用の責任者としてその任に当たる

部門（部署）の従事者に対して、環境経営システムに関する教育・訓練を行う

自部門（部署）の「環境経営計画・実施状況・評価表」を作成し、推進する

環境活動推進委員：部門（部署）長を補佐し部門（部署）の環境経営システムの事務局として事務手続き等の実務を遂行する

全従業者：部門（部署）の推進委員を補佐し部門（部署）の環境経営システムの事務手続き等の実務を遂行する

部門（部署）の環境経営システムを理解し食品リサイクル及び環境問題を継続的に改善する活動を行う

5 環境経営目標（2020年度設置）

2017年度～2019年度までの実績を踏まえ、2020年度～2022年度の環境目標は以下の通りです。
 （尚、2019年度の二酸化炭素排出係数（北電）は0.542（kg-CO₂/kwh）を使用）
 （年度：4月～3月 以下同じ）

製品生産量当たり	基準年度実績 2019年度	基準年度比 2020年度目標	基準年度比 2021年度目標	基準年度比 2022年度目標
二酸化炭素排出量 (kg-CO ₂ /t)	225.18	99.38%	96.78%	94.36%
産業廃棄物排出量 (t/t)	0.0340	99.78%	99.30%	99.17%
食品廃棄物の発生抑制 (t/t)	0.0253	101.96%	101.88%	99.14%
食品リサイクル リサイクル率 (%)	97.16%	97%以上	97%以上	97%以上
排水量 (m ³ /t)	2.81	99.78%	99.30%	99.17%
化学物質使用量 (kg/t)	0.0426	99.78%	99.30%	99.17%
グリーン購入 (作業着、事務用品、文具 等の対象品の購入実施率)	93.69%	94%以上	95%以上	95%以上
環境配慮設計の要素品の比率 (石けん・化粧品事業)	97%	97%以上	97%以上	97%以上
地域とのコミュニケーション (石けん学習会など)	77回/年 1,840名/年	900人/年	1,800人/年	2,000人/年

6 環境経営計画（2021年度）

2021年度の活動は、エコアクション21とCSR活動を連携強化し、横浜市Y-SDGs認証スーパーリア（Superior、2020年度取得）から、最上位評価のスプリーム（Supreme）の認証取得に繋がります。

環境活動計画	取組み内容
二酸化炭素排出量削減 <北電：排出係数 0.542kg-CO ₂ /kWh> 2019年度比 96.78%以下	電気使用量 原単位削減 2019年度比：98.0%以下
	都市ガス使用量 原単位削減 2019年度比：92.0%以下
産業廃棄物 総廃棄量削減 2019年度比 99.30%	一般廃棄物排出量 原単位削減 2019年度比：88.0%以下
	廃白土量削減 2019年度基準に 月187.35kg/t以下
食品廃棄物発生抑制 2019年度比 101.88%	食品廃棄物 発生量削減 2019年度比：101.88%以下
	食品リサイクル率 97%以上

環境活動計画		取り組み内容
総排水量削減 2019年度比 99.30%	水使用量 原単位削減 2019年度比：99.30%以上	①冷却水の循環利用 ②洗浄方法の見直しや洗浄水の適正使用により水使用量を削減する（過剰量を削減） ③冷却水の有効利用（再利用）
化学物質使用量削減 2019年度比 99.30%以下	化学物質使用量原単位 2019年度比：99.30%以下	①使用量の適正管理実施 ②分析機器更新により溶剤使用を削減する ③触媒使用量の削減、リサイクルの実施
グリーン購入推進	グリーン購入実施率 95%以上	①グリーン購入対象品リストに従って、事務用品・文具を購入する ②購入部署はリストにある備品購入へ誘導する
環境配慮設計	環境配慮設計 の要素品の比率 97%以上維持	①RSPO使用製品、精製条件に基準を設定した製品開発 ②化学物質を使用せず石けんをベースにした商品開発 ③石けん化粧品の自社製品については、RSPO認証（パーム油）、FSC森林認証、共に100%の製品設定に切替えていく
地域とのコミュニケーション	地域との コミュニケーション 1,800人/年以上	①工場見学会、手作り石けん教室、環境講演会を開催する ②地域清掃活動の継続実施（本社工場～国道周辺） ③コロナ禍対応として、Webリモートや出前による教育会を行う

7 環境経営目標の実績

① 二酸化炭素排出量原単位：kg-CO₂/t

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	
年度目標（%）（数値以下）	—	99.38	96.78	94.36	
年度実績（%）：2019年度比	—	97.94	91.66	—	
評価	基準	○達成	○達成	—	（目標以下○）
CO ₂ 排出量（t）	15,783	15,598	15,177	—	

非化石証書：電気 CO₂ 425t 減
(15,177 = 15,602-425)

② 総産業廃棄物量原単位：t/t

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	
年度目標（%）（数値以下）	—	99.78	99.30	99.17	
年度実績（%）：2019年度比	—	99.12	112.65	—	
評価	基準	○達成	×未達成	—	（目標以下○）

③ 食品廃棄物発生量原単位：t/t

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	
年度目標（%）（数値以下）	—	101.96	101.88	99.14	
年度実績（%）：2019年度比	—	105.45	98.78	—	
評価	基準	×未達成	○達成	—	（目標以下○）

④ 食品リサイクル率 (%)

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
年度目標 (%) (数値以上)	—	97.00	97.00	97.00
年度実績 (%)	97.16	97.23	95.82	—
評価	基準	○達成	×未達成	—

(目標以上○)

(内訳)

①発生量 (t)	1,802.0	⑤減量量 (t)	0.0
②発生抑制量 (t)	0.0	⑥再生利用等以外の量 (t)	25.4
③再生利用量 (t)	780.2	⑦廃棄物としての処分量 (t)	0.0
④熱回収量 (t)	996.4	再生利用等の実施率 (%)	95.82

⑤ 総排水量原単位 : m³/t

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
年度目標 (%) (数値以下)	—	99.78	99.30	99.17
年度実績 (%)	—	105.74	106.92	—
評価	基準	×未達成	×未達成	—

(目標以下○)

⑥ 化学物質使用量原単位 : kg /t

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
年度目標 (%) (数値以下)	—	99.78	99.30	99.17
年度実績 (%)	—	93.89	97.41	—
評価	基準	○達成	○達成	—

(目標以下○)

⑦ グリーン購入実施率 (%) (作業着、事務用品、文具のグリーン購入実施率)

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
年度目標 (%) (数値以上)	—	94.00	95.00	95.00
年度実績 (%)	93.69	91.57	96.49	—
評価	—	×未達成	○達成	—

(目標以上○)

⑧ 環境配慮設計 (石けん化粧品事業) : 品/品・年

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
年度目標 (%) (数値以上)	—	97.0	97.0	97.0
年度実績 (%)	97.0	100.0	100.0	—
評価	基準	○達成	○達成	—

(目標以上○)

⑨ 地域とのコミュニケーション (石けん学習会など) : 人/年

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
年度目標 (人/年) (数値以上)	—	900	1,800	2,000
年度実績 (人/年)	—	974	1,017	—
評価	1,748	○達成	×未達成	—

(目標以上○)

(評価方法)

- : 達成 目標値達成
- △ : あと一歩 目標値に達していないが 80%の変化がある
- × : 未達 目標値未達成

環境活動計画		取組結果とその評価・＜次年度の取組＞
二酸化炭素 排出量削減 ＜北電：排出係数＞ 0.542kg-CO ₂ /kWh 目標 2019年度比：96.78% 結果 2019年度比：91.66% (評価：○達成)	電気使用量 原単位削減 2019年度比：98.0%	目標（2019年度比：98.00%）⇒結果（111.52%）（2021年度評価：×未達成） ＜次年度取組＞ ①非化石証書（カーボンオフセット）を30%取得（CO ₂ で425t減） ②工程の時短改善を行い生産性を上げる ③不適合品の発生を削減し生産性を向上 ④在宅勤務による電気使用削減を継続実施する ⑤設備改善、設備起因のロス削減、照明のLED化
	都市ガス使用量 原単位削減 2019年度比：92.0%	目標（2019年度比：92.0%）⇒結果（101.41%）（2021年度評価：×未達成） ＜次年度取組＞ ①新脱臭機を熱効率よく運転する ②製造条件見直しにより、過剰な蒸気使用量を削減する ③不適合発生を削減し、再製造等で発生するエネルギー使用を削減する ④廃油利用で熱源を得る
産業廃棄物排出量 削減 目標：2019年度比 99.30% 結果：112.65% (評価：×未達成)	一般廃棄物排出量 原単位削減 2019年度比：88.0%以下	目標（2019年度比：88.0%）⇒結果（87.6%）（2021年度評価：○達成） ＜次年度取組＞ ①資材・製品在庫の持ち方を見直し、販売計画に見合う管理にする ②在宅勤務の推進やWeb会議など電子情報利用で紙含む廃棄物減する ③ごみの分別状況を点検し、回収箱の表示強化・レイアウト変更を行う
	廃白土量削減 2019年度基準に 月187.35kg/t以下	目標（187.35kg/t以下⇒結果（196.97kg/t）（2021年度評価：×未達成） ＜次年度取組＞ ①製造頻度の高い品目を主に色調管理し白土量削減を行う ②廃白土含油率を下げる圧搾処理を改善する
食品廃棄物 発生抑制 目標：2019年度比 101.88% 結果：98.78% (評価：○達成)	食品廃棄物 発生量削減 2019年度比：101.88%	目標（2019年度比：101.88%）⇒結果（98.78%）（2021年度評価：○達成） ＜次年度取組＞ ①油水分離回収設備導入し食品廃棄物を削減する ②資材・製品在庫の持ち方を見直し、販売計画に見合う管理にする ③製造条件を環境配慮設計のもと改定を進める
	食品リサイクル率 97.00%以上	目標（97.00%）⇒結果（95.82%）（2021年度評価：×未達成） ＜次年度取組＞ ①不適合品発生を抑制と再資源化率の監視活動を継続実施する
総排水量削減 目標：2019年度比 99.30% 結果：106.92% (評価：×未達成)	水使用量 原単位削減 2019年度比：99.30%	目標（2019年度比：99.30%）⇒結果（105.28%）（2021年度評価：×未達成） ＜次年度取組＞ ①洗浄制御を見直し、水の使用量を削減する（充填工場洗浄方法） ②排水冷却設備を増設し、工程での水冷却投入量を下げる
化学物質 使用量削減 目標：2019年度比 99.30% 結果：97.39% (評価：○達成)	化学物質使用量 原単位 2019年度比：99.30%以下	目標（2019年度比：99.30%）⇒結果（97.39%）（2021年度評価：○達成） ＜次年度取組＞ ①使用量適正管理を継続実施する ②化学物質使用機器の更新など機能UPを行い使用量の縮小を図る
グリーン 購入推進 目標：95%以上 結果：96.49% (評価：○達成)	グリーン購入 実施率推進 2019年度比：95%以上	目標（2019年度比96%以上）⇒結果（96.49%）（2021年度評価：○達成） ＜次年度取組＞ ①定期的に購入するグリーン購入品を特定しルール化する ②グリーン購入対象品をリスト化（明確化）すると共に運用手順書を周知する
環境配慮設計 目標：97%以上 結果：100% (評価：○達成)	環境配慮設計 (97%以上) 石けん化粧品事業	目標（97%以上）⇒結果（100%）（2021年度評価：○達成） ＜次年度取組＞ ①石けん化粧品の自社製品はRSPO100%、FSC100%対応を継続する ②対象製品群を新規設定し改訂を行う
地域とのコミュニケーション 目標：1800人/年 結果：1017人/年 (評価：×未達成)	地域との コミュニケーション (1800人/年)	目標（1800人/年）⇒結果（1017人/年）（2021年度評価：×未達成） ＜次年度取組＞ ①サステナブルスクール「MANABIYA」を設置、横浜市とも連携し開催する ②上記スクール、見学会をWeb方式でも開催する

＜評価について＞ ○：達成 目標値達成
 △：あと一歩 取り組み開始されており、目標値に達していないが概ね（達成率80%程度）削減或いは抑制効果が確認されている
 ×：未達成 目標値未達成（80%未満）

1) 主要な取り組みの総括評価

新脱臭機を7月に稼働させ旧脱臭機を停止したことで、CO₂原単位は目標内に改善できました。しかし、個別の熱・電気エネルギー量は脱臭機の試運転調整もあり増加しています。今後は新脱臭機含め、運転条件の見直し・標準化を行い効率のよい生産を行い原単位改善に繋がっていきます。

いっぽう再生可能エネルギーの推進として、2022年1月～3月の使用電力の30%を対象に「非化石証書」を購入できました(425t、カーボンオフセット)。

産業廃棄物は廃白土量抑制が総合的な改善とできず悪化しました。原料と白土処理後の色調変化を都度管理し、投入量を調整できる仕掛けを検討していきます。

食品廃棄物削減は、油水分離回収設備の稼働で再資源化したことで目標達成となりました。2022年度はこの設備利用を標準作業とし更なる再資源化を図ります。

水・排水量は増加しています。昨年同様に排水処理設備の排水温度上昇防止の冷却水使用が背景にあります。工場側の水洗浄の使用量削減で制御改造を実施しましたが、効果は下期から目標未達成となりました。排水処理設備の設備改善を行い使用量を減少させることを計画します。

1) 適用法令等の遵守状況の確認及び評価の結果

適用法令等	対象施設	遵守状況の確認及び評価の結果	遵守状況
特定工場における公害防止組織の整備に関する法律	全社	「公害防止統括者（同代理者）選任・解任届出書」、「大気関係公害防止管理者（同代理者）選任・解任届出書」、「水質関係公害防止管理者（同代理者）選任・解任届出書」	○
大気汚染防止法	ボイラー、 ガスエンジン、 悪臭	「ばい煙発生施設（使用、変更）届出書」排煙（NOxの許容限度）の規制基準	○
横浜市生活環境の保全等に関する条例（横浜市環境保全協定含む）		「指定事業所設置許可申請書」、「指定事業所に係る変更許可申請書」年2回NOx測定、定期報告 異常時の処置と対策	○
水質汚濁防止法	排水処理設備	「特定施設設置（使用、変更）届出書」、「特定施設使用等開始報告書」排水規制基準、水質測定、定期報告	○
横浜市生活環境の保全等に関する条例（横浜市環境保全協定含む）		公共用水域に排出される排水の規制基準 異常時の処置と対応	○
騒音規制法	圧縮機	基準遵守、工業専用地域の為対象外	○
振動規制法	全社	基準遵守、工業専用地域の為対象外	○
工場立地法	生産施設、緑地	生産施設、緑地の確保（屋上緑化推進）	○
消防法	屋内貯蔵所	「危険物貯蔵所設置許可申請書」「指定可燃物貯蔵・取扱開始届出書」	○
	指定可燃物（タンク）	年2回の消防用設備定期点検。	
	少量危険物（薬品庫）	「少量危険物貯蔵開始届出書」指定数量内の貯蔵、施設の点検、防災訓練強化	
浄化槽法	浄化槽	「浄化槽設置計画書」年1回の定期検査、年2回の清掃	○
海洋汚染防止法	全社	「油脂保管量報告」	○
横浜市福祉のまちづくり条例	建物、トイレ、スロープ等	「整備基準適合証」	○
横浜市駐車場条例	構内駐車場	「附置義務駐車施設（設置、変更）届出書」	○
特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律（PRTR法）	化学物質	「第一種指定化学物質の排出量及び移動量の届出書」	○
PCB廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法	コンデンサ	「ポリ塩化ビフェニル廃棄物の保管及び処分状況等届出書（保管事業者用）」	○

適用法令等	対象施設	遵守状況の確認及び評価の結果	遵守状況
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	廃棄物置き場	「産業廃棄物管理票交付等状況報告書」マニフェスト管理 「産業廃棄物処理計画」廃棄物置き場での掲示済み	○
横浜市廃棄物等の減量化、資源化及び適正処理等に関する条例（規則）	全社	「産業廃棄物排出状況報告書」	○
高圧ガス保安法	冷凍設備	特定施設届出、規制基準値内、危害予防規定提出 危害予防規定届出、冷凍保安責任者を選任届出	○
改正フロン排出抑制法	全社	簡易点検（1回/3ヶ月以上）・有資格者による定期点検（7.5kw以上）	○
省エネ法 （エネルギーの使用の合理化に関する法律）	全社	CO ₂ 換算で温室効果ガス排出算出 排出量の定期報告（省エネ法定期報告で代用）	○
温対法 （地球温暖化対策の推進に関する法律）	全社	「エネルギー管理統括者／エネルギー管理企画推進者選任届出書」、 「エネルギー管理者選任届出書」 「定期報告書」、「中長期計画書」 （1%以上／年平均のエネルギー消費原単位低減努力）	○
容器包装リサイクル法	工場	再商品化義務、再商品化委託料金の算出、識別表示 「再商品化委託契約申込書」（公財）日本容器包装リサイクル協会	○
食品リサイクル法	工場、倉庫	食品廃棄物の再生利用、削減計画、報告	○
労働安全衛生法	全社、分析部署	健康診断（特殊検診含む）、有機溶剤中毒予防規則の遵守	○

2) 違反、訴訟等の有無

環境関連法規への違反はありません。また、関係当局より違反の指摘及び訴訟は過去3年間ありません。

私たちを取り巻くすべての課題に対して、ステークホルダーの皆さまとコミュニケーションを取りながら、CSR活動やSDGsへの取り組みを通して持続可能な未来の実現を目指していきます。

10 代表者による全体評価と見直しの結果

電力については2030年までに再生可能エネルギー100%にする目標を掲げていますが、熱エネルギーや廃棄物含め、それ以外についても2030年度、2050年度に向けた具体的な数値目標を設定する必要があります。エコアクション21とCSRの連携を更に高め、目標設定するよう協議すること。売り上げを伸ばしつつCO₂を減らす必要があるため、全社目標にして取り組む仕掛けを用意すること。

企業価値の向上では、石けん教室という古い表現でなくサステナブルスクール“MANABIYA”といった表現に変え取り組むこと。環境レポートは実績の振り返りだけでなく、太陽油脂が新たに取組みはじめた又は計画していることを表現し外部に発信することが重要です。それは横浜市、同列の企業と比べた相対的な位置づけを内外に知らせることです。

環境レポートを通じて、人に感動を与える挑戦・表現力をさらに磨いてください。



11 その他環境経営活動報告

1) 地球温暖化対策、省エネルギー活動

●エネルギー管理指定工場

省エネ法が1979年(昭和54年)に制定時から太陽油脂は、省エネルギー設備の導入を行ってきました。

2021年度は脱臭設備を更新し、熱交換の導入など旧設備より省エネ設計を行い、7月に稼働させました。(年間約550tのCO₂削減)

●再生可能エネルギー

太陽油脂コーポレートサイトに、再生可能エネルギーを主要な取組テーマとして設置、「2030年までに使用電力の100%を再生可能エネルギーに切り替えます。」を明記しました。

2021年度の取り組みでは、この目標に向け2022年1月～3月の使用電力の30%の「非化石証書」を購入しました(CO₂、425tカーボンオフセット)。使用電力の30%は、本社と石けん化粧品工場の消費電力100%以上に相当します。

2022年度も同量の非化石証書を購入、2030年100%切り替えに向け段階的に比率を上げ、目標の達成に繋げていきます。



2022年1月～3月分の非化石証書(電気)

非化石価値調達証書

2022年6月13日

太陽油脂株式会社 御中

東京都千代田区永田町2-11-1 山王パークタワー
boost technologies 株式会社
代表取締役 青井 宏 憲

当社は、貴社からの依頼に従い、下記記載の非化石証書(以下「本件証書」といいます。)を調達いたしましたので、本件証書の権利が貴社に帰属することをここに証します。

記

【代行調達した非化石証書の内容】

取引名	2021年度第4回非化石証書取引 2022年5月13日約定処理
対象期間	2021年10月～12月発電分
割当量	76,122kWh
非化石証書の種類	FIT 非化石証書

非化石価値調達証書

2022年6月13日

太陽油脂株式会社 御中

東京都千代田区永田町2-11-1 山王パークタワー
boost technologies 株式会社
代表取締役 青井 宏 憲

当社は、貴社からの依頼に従い、下記記載の非化石証書(以下「本件証書」といいます。)を調達いたしましたので、本件証書の権利が貴社に帰属することをここに証します。

記

【代行調達した非化石証書の内容】

取引名	2021年度第4回非化石証書取引 2022年5月13日約定処理
対象期間	2021年10月～12月発電分
割当量	76,122kWh
非化石証書の種類	FIT 非化石証書

約定処理日	2022年5月13日約定処理
写定期間	2021年10月～12月発電分
証書番号	2082504900
非化石証書の種類	FIT 非化石証書
設備ID	JK1508825
発電設備区分	水力
設備の所在地	群馬県島田市伊賀字後口2-30-2～3
発電設備名	群馬県島田市伊賀字後口2-30-2～3
設置者	群馬県島田市伊賀字後口2-30-2～3
発電出力(kW)	6,310.0
認定日	2013/10/22
運転開始/予定日	2015/2/28

※ 購入予定需要先: 太陽油脂株式会社 工場

また、横浜ブルーカーボン・オフセット制度を活用、CO₂、10.3t分購入しました。

2022年1月～3月における自社石けん化粧品工場のガス使用に係るCO₂排出量10.22t - CO₂(全量)のカーボンオフセットを行いました。(横浜市の制度で2021年度で終了するため太陽油脂CO₂排出量の減はしません)

カーボン・オフセット証明書
CERTIFICATE OF CARBON OFFSET

横浜ブルーカーボン・オフセット制度実施要領の規定に基づき、以下のとおりカーボン・オフセットが行われ、地球温暖化対策としてCO₂の吸収・削減に貢献したことをここに証明します。

Yokohama Blue Carbon
YOKOHAMA BLUE CARBON PROJECT

カーボン・オフセット実行事業者: 太陽油脂株式会社
カーボン・オフセット実行CO₂排出量: 2022年1月～3月における自社石けん化粧品工場のガス使用に係るCO₂排出量10.22t-CO₂(全量)
認証発行日: 令和4年5月25日

活用されたプロジェクト: LNG燃料タグボートへの更新によるCO₂削減事業
株式会社新日本海洋社
削減した数量: 10.3t-CO₂
クレジットの識別番号: 2019-PJ005-986から2019-PJ005-1088まで

CO₂排出量
EMISSION OF CO₂ 10.3t-CO₂
CO₂償却量
REDUCTION OF CO₂ 10.3t-CO₂

令和4年5月25日
Yokohama Blue Carbon
横浜市長 山中 竹彦

2) 自然環境保護活動

●石けん教室開催、地域への貢献

太陽油脂は会社創立(1947年)当時より、「ボックス」シリーズとして粉石けんや台所石けん、石けんハミガキなどをお届けしてきました。石けん製品をより身近に親しみながら、石けんの良さについて知っていただけるような取組みとして、工場見学会や講習会を実施し、個人消費者～団体まで幅広く受け入れを行っております。

2021年度も、年初より新型コロナウイルス感染症の影響で、工場受入れの見学会は通年中止となりました。感染状況の収まっているタイミングで、横浜エコスクール(YES)扱いの講座も出張型として一部開催は出来ましたが、感染再拡大に伴い双方の安全を鑑みリモートにての開催として続けていきました。

2021年度は、19講座(1校複数回の開催は1講座とした)をリモート講座として行うことが出来ました。

「一個の石けんから地球環境を考える」リモート・出張講座

内容

- ①コロナ禍で工場見学の受け入れが出来ない為、主にリモート講座での啓発活動となりました。
- ②実験(乳化の実験、振る石けん作り)、低学年のお子様には手でこねる石けん作りを体験していただき、石けんの性質(汚れ落ち、環境への影響、使用のコツ)をお伝えしました。
- ③SDGsに貢献するSDGsと企業活動の話や、石けんの原料としても多く使用されるパーム油の適正な使用に関するRSPOへの取り組みもお伝えすることで、エシカルな消費活動をお勧めしました。
- ④横浜市のYES※登録も二年目を迎え、コロナ禍にも拘わらず多くの講座開催依頼がありました。

※YES(ヨコハマ・エコ・スクール)

市民団体・事業者・大学・行政等が施す温暖化対策やエコライフスタイルなど環境に関連する講座やイベント等の「学びの場」を支援し、「YES」という統一ブランドを活用して、「Zero Carbon Yokohama」を全市的ムーブメントに広げていく市民参加型プロジェクトです。

- ⑤横浜市教育委員会における「はまっつ未来カンパニープロジェクト」において、地域・社会貢献したいという小学生の思いに対し、産官学地域コミュニティが協力し、横浜金沢「黒船石けん」(コロナ対策、地元原材料、世界の環境や人々の為に)の製造や、横浜杉田「しゃぼん玉制作企画プレゼント」(コロナ禍での閉塞感を、大きなシャボン玉づくりで吹き飛ばしてほしい)への協力を行いました。



対象(参加団体)

・学校・団体(小学校 9校、中学校3校、高校1校、学童施設6施設 合計19)
参加人数 合計 1,041名

出張石けん学習会の様子



●「サステナブルスクール"MANABIYA"」の設置

総合学習の一環で各校に出張やリモートにて「石けん教室」を開催致しました。

学び慣れた環境での学習の為、講座に集中し興味深く目を輝かせる姿が印象的でした。講座の最後の質問コーナーでは活発な意見交換も出来、後日お礼のお手紙や寄せ書きもいただきました。

今まで開講してきた工場見学や出張・リモート「石けん教室」につきましては、石けんのみならず事業を通じてSDGsやRSPO、CO₂削減といった内容もお話をしているので、ESD(持続可能な開発教育)の活動ともいえます。

そこで次年度よりコンテンツとしてバージョンアップした「サステナブルスクール"MANABIYA"」を設置。

横浜の子供達のSDGs学習、職業観や勤労観、地域貢献意識を育むことに横浜100年企業として「ともに創る未来」をスローガンに一層の社会貢献・推進をしていきます

2021年度のおもな活動

2021年度4-3月	はまっこ未来カンパニープロジェクト「黒船石けん」の制作協力
2021年度4-3月	YES他、出前講座の実施と複数講座の開設
2021年度11月	横浜GPN寄付講座参加。—横浜市立大学にて石けんとRSPOについて講義
2021年度11月	こども「エコ活」大作戦2021協賛
2021年度11月	コスメバンクプロジェクト（第1回）協賛※1
2021年度12月	はまっこ未来カンパニープロジェクト「シャボン玉」の制作協力
2021年度12月	はまっこ未来カンパニープロジェクト「横浜発祥のもの調査から石けん作り」
2021年度12月	マツダサンプラザプロジェクト協賛
2022年度1月	Y-SDGsのランクアップ(Supreme)に向けた社内活動の推進
2022年度1月	CSR・サステナビリティ委員会の設置
2022年度2月	サステナブルブランド（SB）国際会議登壇 -パシフィコ横浜-
2022年度3月	民間テレビ広告枠にて「黒船石けん」とこども達の活動紹介
2022年度3月	関横浜市温暖化対策統括本部作成の「市内中小企業向け 脱炭素ガイドライン」に太陽油脂の取組紹介

※1… コスメバンクプロジェクトとは

一般社団法人バンクフォースマイルズ（事務局所在地:東京都港区、代表理事:山田メユミ）は、"女性と地球にスマイルを"増やすべく、行き先が決まっていない化粧品の余剰品を経済的困難下にある女性に無償でお届けするものです。

<http://cosmebank.jp/>

●持続可能なパーム油の調達（RSPO） ※RSPO（持続可能なパーム油のための円卓会議）普及（Roundtable on Sustainable Palm Oil）

パーム油は生産量世界一の植物油脂です。食品や洗剤をはじめ、身近な製品に幅広く使用されている一方、生産国であるインドネシアやマレーシアでは環境問題や社会問題が発生しています。

私たちは、この問題へ取り組むことの必要性を強く感じ、2011年にRSPOへ加盟しました。環境や人権に配慮された方法で生産されたRSPOのパーム油を製品へ積極的に展開することで、生産国の環境・社会・経済に貢献しています。

太陽油脂の進捗状況はwww.rspo.orgを参照ください（英文サイト）。（太陽油脂情報は、<https://www.rspo.org/members/779/Taiyo-Yushi-Corp>にて）



このようなトレードマークを表示しています



●環境配慮設計商品の開発

最近の環境変化に伴い、日常使用している洗浄剤や化粧品で、地球環境を配慮した肌に優しい商品へのニーズが高くなっています。

石けん・化粧品研究開発グループでは、環境にやさしい石けん・化粧品製品を毎年開発しております。

本年度は原料、包装、リサイクルまで持続可能性を追求した「地球の未来にまじめなボディーソープ」を共同開発しました。

またバックスベビーシリーズでは新たにSPF30、PA++^{※1}の「バックスベビーしっかりUVケアクリーム」を発売しました。

本年度に開発した商品は、全て下記の『環境配慮設計の基準』を満たし、オーガニック認証としては『JONA認証準会員』を製造工場と一部製品で更新して取得を続けております。

※1… SPFとPA

■ SPF …「Sun Protection Factor（紫外線防御効果）」を数値化したもので、肌が赤くなる日焼けの原因、紫外線B波を防ぐ指標とされています。

■ PA …「Protection grade of UVA」はA紫外線（肌を黒く日焼けさせる）を防ぐ効果を示す記号です。「PA+」～「PA++++」の4段階で表示され、「+」が多いほど防止力が高まります。

【環境配慮設計の基準】

- ・当社製品は石油由来の合成化学物質は使用せず、自然由来成分にこだわった石けんや化粧品を製造しています。
- ・商品は常圧以下かつ約100℃以下の温度で製造しています。
- ・プラスチックにおいてはその使用量を減らし、使用する場合はリサイクル可能・バイオマス由来・生分解性のある素材にしていきます。

●肥育期間短縮による肉牛のメタンガス排出量削減

大学や企業、農場と共同で研究を行い、「脂肪酸カルシウム」を製造・販売しています。

この「脂肪酸カルシウム」は、肉牛のエサに混ぜるなどして与えることで、家畜が早く健やかに育ち、結果として反芻によるメタンガスの排出量が減少します。

メタンガスは温室効果ガスのひとつであり、反芻動物からの排出が大きな問題となっています。

私たちの製造する脂肪酸カルシウムは、アマニ油を使用するなど油脂の内容にこだわっており、牛・豚・鶏などの家畜が健やかに育つことを目指しています。



環境配慮 2021 年度新製品



RSPO-1106245

地球の未来にまじめな
ボディーソープ



バックスベビーしっかり
UVケアクリーム

3) 人の生活環境改善活動

●太陽油脂のSDGs重点テーマ設置

自社の取り組みをSDGsの17のゴールと169のターゲットと照らし合わせ、事業との関連性で重要度を評価しました。そして以下の8項目を重点テーマとし、積極的にSDGsへ取り組んでいます。

テーマ	取り組み内容	SDGs
安心・安全	お客さまとのコミュニケーションを大切に、安心・安全で健康に貢献できる商品・サービスの提供を継続します。	3 すべての人に健康と福祉を
ESD:持続可能な開発のための教育	石けん教室での講義や自社の取り組み事例の紹介を通じて、環境・エシカル消費・SDGsの理解を深める活動を継続強化します。	4 質の高い教育をみんなに
ダイバーシティ	2021年度中にダイバーシティを強化する計画を策定します。	5 ジェンダー平等を実現しよう
再生可能エネルギー	2030年までに使用電力の100%を再生可能エネルギーに切り替えます。	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに 13 気候変動に具体的な対策を
紙	石けん・化粧品事業における主要な自社製品へ100%、FSC®認証を利用した持続可能な紙の利用を目指します。	12 つくる責任 つかう責任
パーム油	2020年12月より製造する石けん・化粧品事業の自社製品へ100%、RSPO認証の利用（マスマランス方式、クレジット方式）を開始しています。	15 陸の豊かさも守ろう
プラスチック	プラスチックの使用量を減らし、使用する場合はリサイクル可能・バイオマス由来・生分解性のある素材にします。	12 つくる責任 つかう責任 14 海の豊かさを守ろう
外部連携	ステークホルダーの皆さまと積極的な連携を図ることで、サステナブルな取り組みを加速します。	17 パートナリシップで目標を達成しよう

●ヨコハマ・エコ・スクール（YES）との連携

YESは、横浜市が開催している環境に関連する講座やイベント等のプロジェクトです。太陽油脂は「YES協働パートナー」として石けん教室を登録しています。

●ヨコハマSDGsデザインセンターとの連携

ヨコハマSDGsデザインセンターは、横浜市が抱える環境・経済社会的課題解決に向けて活動を行います。太陽油脂は会員として、「一個の石けんから地球環境を考える」と題した石けん教室を登録しています。



●地域への貢献 清掃活動

地域貢献活動として、太陽油脂から国道までの道路周辺を毎週清掃活動しています。



●地域への貢献 町内会への協力

毎年夏に行われる町内会イベント向けに協賛品を寄付、コロナ禍でイベントは中止となりましたが、地域活性化に貢献できればとの思いで、例年通り、「パックスナチュロンクリームソープ」4ケースを寄付しました。(近隣の3箇所の町内会)

●地域への貢献

プロサッカーチームの横浜FCとECOパートナー契約を締結。クラブハウスで選手が使用するための製品提供を行い、横浜FCの環境配慮活動サポートや、イベント時の石けんづくりワークショップを通じてスポーツの支援を行っています。



◎会社沿革

- 1919年(大正8年) 東京搾油株式会社として発足(主として南洋特産コプラの搾油)
- 1936年(昭和11年) 南洋貿易株式会社と合併
- 1939年(昭和14年) 石けんの生産開始
- 1947年(昭和22年) 太陽油脂株式会社として創立
- 1948年(昭和23年) 石けんシャンプーの商標を「パックス」に決定
- 1950年(昭和25年) 我が国初のショートニング製造実用化と販売開始
- 1970年(昭和45年) ペストリー・パイ用シートマーガリン販売開始
- 1971年(昭和46年) 鐘淵化学工業株式会社(現 株式会社カネカ)と業務提携
- 1972年(昭和47年) ホイップクリーム用シリーズ販売開始
- 1973年(昭和48年) コーヒークリーム用シリーズ販売開始
- 1982年(昭和57年) CI(企業理念)導入、社章(日の出マーク)制定
- 1985年(昭和60年) フィリング・トッピング用「メルファー」シリーズ販売開始
関係会社「太陽サービス株式会社」創立
- 1989年(平成元年) 「パックスナチュロン」石けんシリーズ販売開始
- 2003年(平成15年) HACCP認証取得(加工油脂)
- 2004年(平成16年) ISO9001:2000(食用加工油脂)取得
- 2006年(平成18年) 「パックスオリー」石けんシリーズ販売開始
- 2008年(平成20年) 「パックスベビー」石けんシリーズ販売開始
- 2009年(平成21年) エコアクション21 認証・登録
- 2011年(平成23年) RSPO加入
- 2013年(平成25年) FSSC22000(食用加工油脂)取得
SC認証(RSPO)取得
基礎化粧品シリーズ「素肌レシピ」オーガニック・コスメ販売開始
- 2014年(平成26年) ISO22716(化粧品GMP)取得(石けん・化粧品)
- 2017年(平成29年) 創立70周年を迎える
- 2018年(平成30年) ISO9001:2008(石けん・化粧品)取得
- 2019年(令和元年) 創業100周年を迎える
- 2020年(令和2年) Y-SDGs認証スーパー取得



太陽油脂株式会社